

たけうま

平成30年9月1日発行 NO. 1
ナオミ保育園 園長 藤巻 元美
ナオミ保育園たけうまの会 会長
高橋 裕二

「たけうまの会」設立

創立60周年を越えるナオミ保育園で、卒園生だけではなく、父母や職員、ナオミ保育園に思いのある方々を結びつける役割として、同窓会総会「たけうまの会」を設立しました。

ナオミ保育園の発展を願い、そのための活動に協力することはもとより、子どもを通じて知り合った親や職員たちの一期一会を大切に、「再会」や「交流」を育む、ふれあいの場を提供していきます。

また、これまでも長い歴史の中でナオミ保育園は地域の子育てに貢献しました。これからも地域の子育てに貢献し、地域とのつながりが強い、開かれた園となるような活動をしていきます。

会の名称は、ナオミ保育園で親も子どもも一緒に取り組んだ「竹馬作り」にちなみ、いつまでも会員同士が「竹馬の友」であることを願って名付けられました。



「たけうまの会」設立総会 6月30日開かれる

菊田桂子先生をはじめ、卒園生、多くの懐かしい職員、保護者が参加し、ナオミ保育園ホールにて設立総会が開かれました。会の様子を報告します。

★★社会福祉法人ナオミの会理事長 菊田桂子先生よりご挨拶★★

卒園生・卒園父母の皆様。皆様が“ナオミ保育園を支える会“をつくろうと呼びかけあってくださること、大変うれしく思っています。

ナオミが生まれて64年たちますが、その間巣立っていかれた皆様が、それぞれの人生の節目においてナオミで子育てに奮闘された日々を思い出されたり、不安や喜びを分かち合い一緒に過ごした仲間はどうしているだろう、自分が楽しく遊んだ記憶がふとよみがえったり、そしてナオミは今どうしているだろう、と気にして下さったりしていることを伺っています。私たちもお一人お一人のことをついこの間のように思い出します。

「つながれナオミっこ」誌で毎年卒園生に短いお祝いのことばをつづっていますが、この子たちは10年後20年後どんな生き方をしているかしら、大きくなってこれを読み返したときに、ナオミが大切にしていたことを、もし忘れていたら思い出してほしい、覚えていたら人にも伝えてほしいと願いながら書いています。神様の大きな愛の中で私たちもお互いに思いあって生きていきましょう、というメッセージをお届けできていたらよいのですが。

ナオミの会では43年前に建てたナオミホームとナオミ保育園の建物の老朽化が目立って参りましたので、60周年を迎えるころから建替えに取り組みねばならないと考えはじめました。単に今までと同じ内容の建物を作るのではなく、これから先の社会情勢やニーズを見据えた将来構想をそれぞれの施設で検討しています。



ナオミ保育園の父母の皆様は、共育ての理念のもとにいつも私たちと一緒にさまざまな困難に力を合わせ、協力してくださいました。本当に感謝です。私たちはこれからも父母・園・保育士がともに支えあいながら愛が育まれる「こどもの家」である保育園を目指したいと思っています。またこの尾山台の地域の方がたにナオミ保育園の子どもたちは常に温かく見守られて育ってきました。これからも見守って頂きながら、私たちも地域の方々と共にボランティア活動の拠点になって地域の方々の暮らしに貢献していきたいと思っています。

卒園生・卒園父母の皆様、ナオミの未来のためにこれからもお心にかけていただければ幸いです。皆様の上に恵み豊かにありますようにお祈りしています。

★★たけうまの会会長 ナオミ保育園卒業第1期生 高橋裕二よりご挨拶★★

ナオミに通っていた時期は昭和29年12月から昭和30年3月までの、たったの4ヶ月でした。当時の卒園生が7名だったことを知ったのは4年前の60周年の記念誌を見てのことです。

最近、古い写真を整理していたら何とナオミの入園と卒園の時のセピア色の写真が出てきました。写真の中には、にこやかな笑顔の菊田先生が子どもたちと一緒に写って、みんなを見守ってくれているようでした。この笑顔こそが、ナオミ設立にかけた意気込みが昭和29年に結実し、初めての卒園生を送り出すことでの自信と期待を表したものに相違ありません。それから60有余年を経て、地域の子育ての拠点として揺るぎないものになっているのを見るのは、嬉しい限りです。



地元の会合などで会った方と話をしていたとき、意外な方がナオミ出身ということを知り、「実は私もナオミ出身の1期生です」と紹介すると、急に意識の壁が取り払われるような感じがします。小学校に上る前のことなどほとんど記憶がないことが多いのに、なぜかナオミで過ごしたことが意識の底に残っているのは、多くの色々な子どもたちの中でもまれて過ごしてきたことが体験としてあるような気がします。乳児から幼児、年少から年長までの園児たちが一緒に空間の中でわいわいがやがやする中で泣いたり笑ったり、冒険したりすることで育まれた遊びの体験が、周りの友達とうまくやれる元気な子供を育ててくれたのでしょう。

そんなナオミが、菊田澄江先生の掲げたトーチを次々にリレーでつないでいって、これから100周年、150周年を祝えるよう、地域の中で存在し続けていって欲しいものです。そのためには、ナオミの卒園生を結ぶネットワークをしっかりと構築し、リレー競技に参加する園児や先生方、父兄の方々をサポートすることで少しでもお役に立てればと思います。

★★参加していただいた卒園生、懐かしい先生方、保護者の方々★★



★★同窓会費についてお願い ～ 一世帯1000円 終身会費です ～

同封の会規約をお読みにになり、同窓会費についてご賛同いただき、お振り込みくださいますよう、御協力をお願いいたします。10月27日が恒例の「ナオミバザー」です。その際、タンポポ喫茶にて会費をお預かりすることも可能です。是非バザーにお出かけください！

なお、振り込みの際いただきます個人情報は、同窓会以外での使用はいたしません。

ご不明な点は下記までご連絡ください
ナオミ保育園内 ナオミ保育園同窓会事務局
園長 藤巻元美 03(3701)8311
メールアドレス：703takeuma@gmail.com